

知的障害特別支援学校における 情報活用能力育成のためのモデル開発

～IE-Schoolによる「情報活用能力の体系表例」を踏まえた授業実践から～

研究目的

知的障害特別支援学校において情報活用能力を育成するための育成モデル開発に必要な要素を明らかにする。

研究方法・研究結果

1. 授業実践

文部科学省（2019）、IE-Schoolの情報活用能力の体系表例をもとにして、児童生徒の情報活用能力を育成することをめざした授業を実践し、その事例を収集した。

[illegible]

2. 検討会の実施

筆者らが集まってIE-Schoolの情報活用能力の体系表例と授業実践の報告をもとに、対象校で進めるべき情報活用能力育成の内容、特徴等を検討する会議を実施した。当初、ステップをより「引き上げる」ことに重点が置かれている様子がみられた。しかし、単に「引き上げる」のではなく、対象となる児童生徒の実態に即した指導を「積み重ねる」ことが必要であり、必要なスキルを個々に適した方法で深めることが大切なのではないか、ということが確認された。

考察

対象校の実態では、IE-Schoolの情報活用能力の体系表例の各ステップの幅が広すぎることがみえてきた。知的障害特別支援学校における情報活用能力育成については、児童生徒の実態に即したより具体的で丁寧な「知識及び技能」の育成を「積み重ねる」必要があり、その基盤から、「思考力、判断力、表現力等」を育成していくことが大切であるだろう。情報活用能力育成のためのモデル開発では、情報活用能力を育成するための具体的な生活場面を想定し、児童生徒の実態に即し、一人ひとりが主体的に学習に取り組むことができるテーマや活動の場面を設定することで、具体的な育成イメージを明確に示すことが求められる。今後の研究ではこうしたモデル例をさらに検討し実践研究を進めていきたい。

- 【参考文献】
文部科学省 2019 次世代の教育情報化推進事業(情報教育の推進等に関する調査研究)成果報告書 情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントの在り方と授業デザインー令和元年度 情報教育推進校(IE-School)の取組よりー
文部科学省 2021 「令和の日本型学校教育」の構築を目指してー全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現ー（答申）（中教審第228号）
名古屋恒彦 2022 知的障害教育における「個別最適な学び」と「協働的な学び」 東洋館出版社